

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1 : 28

御觸書

寛保集成

二

禁裏御台函等
定式御祝儀等二
二

二

信二

内閣文庫	
番號	和 32663
冊數	27(2)
函號	罫 36 3

禁裏御衣函寫之記

一 女御入内身秋上内示

寛文九年元禄十年享保九年元文元年

一 御所炎上

一 東福門院御衣箱炎上

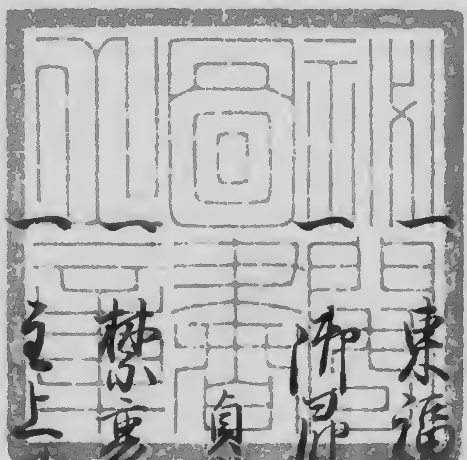
一 御所位身秋上内示

貞享四年宝永七年享保二十年

一 禁裏御衣箱炎上内示

一 上御所位身秋上内示

一 禁裏 仙洞之境抗所中着板名徳板



- 一 是述 勅書之中東川治天向後、御邊書之江條
- 一 禁裏 御所方江書結身御築地料事
- 一 法皇 姫宮御入樂後
- 一 女御 涉里御殿治築地書掛、令又兼内近江丹波播磨又万石之山城之、分此用云云
- 一 新羅 依女御其死去
- 一 女院 涉所 崩御
- 一 立坊 相海以涉院後
- 一 禁裏 法皇御麻疹
- 一 法皇 品御

- 一 敬法門院 薨去
- 一 涉讓位相海 院涉所涉料事
- 一 仙洞 崩御
- 一 梅溪 前中納言卒去

定式御院儀事之部

- 一 諸大名涉礼之次
- 一 玄猪身之 城列限事
- 一 云官圓持之 惠从令之 涉音日録一人之 口品之 次、涉礼之 子石以下涉礼之事

- 一 八朔、出礼上より職人ノ事
- 一 圓持大名始、糸勤瑞午、室陽、米、草、其外、進、也、不、
之、今、年、一、内、藏、少
- 一 出、仕、日、院、家、苗、子、居、在、山、以、後、身、在、
- 一 徳、松、極、上、初、一、次、才
- 一 奉、始、出、仕、初、上、初、一、次、才
- 一 曾、蒲、御、甲、并、御、統、初、初、上、一、次、才、但、極、首、末
- 一 経、目、涉、礼、一、衣、初、上、初、一、次、才
- 一 初、上、兵、版、ノ、事
- 一 御、黒、書、院、涉、務、事 御、目、見、一、次、才

- 一 依、礼、始、後、役、人、亦、涉、礼、日、礼、最、合、以、方、一、候
- 一 御、老、極、御、始、初、上、初、上、才
- 一 御、女、中、極、方、より、御、始、初、一、衣、初、上、初、一、次、才、且、糸、勤、之、外、
身、事、初、初、上、一、衣、初、上、初、一、次、才、并、選、初、初、上、初、一、次、才、
在、在、在、方、一、候
- 一 依、禮、代、元、奥、表、依、礼、元、産、以、一、事
- 一 拾、万、石、以、上、下、出、仕、一、時、分、苗、書、居、在、建、刀、持、一、事
- 一 若、年、寄、支、死、後、役、人、亦、合、依、礼、初、初、上、初、一、次、才、一、候
- 一 依、書、不、相、察、又、一、病、宗、言、小、書、後、入、一、面、一、奉、始、之、外、
出、礼、初、上、初、一、次、才、一、事

- 一 中納言掬ハ秋上為ハ次方
- 一 西凡ハ衣ハ勺月次ハ出ハ仕ハ次方
- 一 秋上為負數ハ事
- 一 年姑ハ出ハ礼ハ并ハ秋上為西凡ハ衣ハ并ハ上ハ方ハ年ハ以ハ威ハ著ハ已ハ勤ハ次方
- 一 布衣ハ以下ハ西凡ハ出ハ礼ハ出ハ方
- 一 家子ハ代ハ掬ハ年姑ハ其ハ外ハ秋上為ハ仕ハ方
- 一 糸勤ハ衣ハ湯ハ内ハ禮ハ秋上為ハ為ハ祝ハ儀ハ事ハ禮ハ為ハ并ハ格ハ言ハ且ハ法ハ新ハ為ハ方ハ中ハ法ハ衣ハ一ハ面ハよりハ禮ハ為ハ事
- 一 年姑ハ于ハ外ハ出ハ礼ハ并ハ仕ハ法ハ儀ハ身ハ並ハ

- 一 上掬 清基掬ハ年中ハ秋上為ハ西月次ハ清ハ結ハ進ハ解ハ秋上為ハ事
- 一 玄猪ハ湯ハ祝ハ衣ハ 清ハ子ハ自ハ湯ハ解ハ戴ハ面ハ出ハ礼ハ勤ハ秋上為ハ衣ハ織ハ草ハ類ハ事
- 一 月次ハ出ハ礼ハ衣ハ勺ハ亦ハもハ出ハ礼ハ出ハ衣ハ并ハ入ハ受ハ秋上為ハ仕ハ方
- 一 出ハ次ハ一ハ同ハ 清ハ月ハ見ハ面ハ作ハ法ハ儀ハ為ハ解ハ致ハ一
- 一 殿ハ中ハ能ハ烟ハ石ハ仕ハ振ハ事 作ハ出ハ一
- 一 大ハ廣ハ間ハ出ハ礼ハ衣ハ勺ハ人ハ教ハ割ハ事
- 一 嘉ハ定ハ湯ハ祝ハ衣ハ布ハ衣ハ以下ハ考ハ合ハ定ハ儀ハ事
- 一 天ハ英ハ院ハ掬ハ 月ハ光ハ院ハ掬ハ 威ハ堂ハ秋上為ハ事

- 一 月光院極瑞午秋上内子外正附女中上徳物
手外名吹亦事
- 一 清談生日一清祝法月限整事
- 一 法苗書居支配考合年法法孔日限事
- 一 三月朔日及月朔日法孔事
- 一 一位極 月光院極書上正祝依内正孔事
秋上内相止

定式清祝儀等事

- 一 清祝儀之長向後進納番小廿日第出極
- 一 三月朔日月次正法孔事
- 一 去法正祝法知事
- 一 法苗書居支配考合年法法流月次亦出正法
- 一 三月末日正法之苗並其歲並正祝儀事
- 一 毎月清祝を揚一秋上内正月十八日斗差正法
- 一 正月三日町人正法依且秋上内減少事
- 一 冬秋上負敷事
- 一 法三家方清祝正作上内長秋亦減少
和年如法事

- 一 此之家方由國出孔子外使札示之事
- 一 象督出孔子出馬秋之象始八朝出右方
于外勤品省略一廉一
- 一 秋上二寸服深進之事
- 一 二九出仕之後
- 一 若若極之若上為之事
- 一 西九出仕之後
- 一 出馬秋上之長既訪於文右馬不及見分
- 一 此之家始願同より出馬秋上之事
- 一 大納之極出代之極之事

- 一 出馬秋上之事
- 一 象督出孔子出馬秋之象始八朝出右方
于外勤品省略一廉一
- 一 秋上二寸服深進之事
- 一 二九出仕之後
- 一 若若極之若上為之事
- 一 西九出仕之後
- 一 出馬秋上之長既訪於文右馬不及見分
- 一 此之家始願同より出馬秋上之事
- 一 大納之極出代之極之事
- 一 出馬秋上之事
- 一 象督出孔子出馬秋之象始八朝出右方
于外勤品省略一廉一
- 一 秋上二寸服深進之事
- 一 二九出仕之後
- 一 若若極之若上為之事
- 一 西九出仕之後
- 一 出馬秋上之長既訪於文右馬不及見分
- 一 此之家始願同より出馬秋上之事
- 一 大納之極出代之極之事

- 一 暑寒入御機嫌伺討事
- 一 御新座換二九御移成使名号上御事
- 一 御礼日表 出御之儀作法事
- 一 大綱云極御破魔弓示向後不及秋上

柿原裏御衣出之記

寛文九酉年閏十月

一月廿一日

女侍 清久 内付百為清祝儀以使者
此書立之面々之云々之上之旨自充中 云
相觸之所謂

尾張中納言殿 紀伊中納言殿 甲府宰相殿
信濃宰相殿 水戸宰相殿 松平加賀守
松平越前守 井伊掃部頭

右志

林尔衷氏 清左卫門 清馬代英全云投免

女御に白銀二十枚元
女院に同功

尾張中將殿 水戸少將殿

右志

林宗裏に 御右刀 御馬代 黄金

中將殿に二枚 少將殿に三枚

女御に 白銀十枚元

松平新右衛門 松平大隅守 松平相摸守

松平安藝守 松平大膳守 細川越中守

松平右衛門 松平丹波守 後堂和泉守

松平系系代

右志

林宗裏に 御右刀 御馬代 黄金三枚元

女御に 白銀二十枚元

松平越後守 松平讃波守 保科筑前守

酒井推樂守

右志

林宗裏に 御右刀 御馬代 黄金二枚元

女御に 白銀十枚元

女院に 同功

佐竹徳理安 本村月記 松平澄路
丹羽左京守 松平出羽守 松平大和守
本多月記 松平下總守 松平右衛門
有馬中務 齋藤次郎 松上松平次

右志

林小裏 御方 御馬代 葵令二枚

女御 白銀十枚

松平但馬守 伊豆守 宗對馬守

織田山城守

右志

林小裏 御方 御馬代 葵令一枚

女御 白銀十枚

阿部豊後守 稻葉丹波守 久世大和守

松平但馬守 板倉内膳正 牧野依波守

松平貞作守

右志

林小裏 御方 御馬代 葵令一枚

女御 白銀十枚

女院 御方 同前

寛文二十七年六月

一 去九日

禁中振就焚燒所申唱物今日より二日以内
傳山可仕有云 作付比岩手通所申云云
相觸以上

六月

延宝六年六月

東福門院殿所番奠秋上

次男

- 一 六万石より九万石迄 白浪五枚
- 一 拾万石より拾九万石迄 白浪拾枚
- 一 貳拾万石より三拾九万石迄 白浪貳拾枚
- 一 四拾万石以上 白浪三拾枚
- 一 拾万石以上一嫡子 白浪三枚
- 一 三拾万石以上 甲府中将殿
- 白浪拾枚 尾張中将殿
- 白浪拾枚 紀伊中将殿
- 白浪五枚 水戸守将殿

白浪之松

五代姫君方

以上

同御番奠然之上次

一 白浪之松

松平左京亮

一 同形

松平刑部大輔

一 同形

松平播磨守

一 同形

宗對馬守

一 同形

織田山城守

一 同形

毛利甲斐守

一 白浪二枚

織田内記

一 同形

松平右衛門

一 同形

松平大學院

一 白浪之松

丹羽若狭守

一 同二枚

織田伊豆守

一 白浪之松

松平播磨守

一 同形

松平出雲守

以上

隠居之御然之上次

一 白浪之松

松平新吉所

一 同形

松平紀伊守

一同
一同
一同

松平源英
本林内記
松平兵部大輔

貞享四年二月

御即位禮儀献上之覚

禁裏

一張之拾枚
一同二拾枚

三拾万石以上
二拾九万石以上
拾万石以上

一同拾枚

九万石以上
五万石以上
但五万石以下一万石
以上以上八秋上也

本院
新院
一張之拾枚

一同拾枚

三拾万石以上
二拾九万石以上
拾万石以上

一同五枚

九万石以上
五万石以上

申寔

一張拾枚

但五万石以下一万石
以上以上八秋上也
三拾万石以上

一同八枚

一 貳拾九万石より
拾万石迄

一同二枚

九万石より
五万石迄
但五万石以下は
石取上ハ秋上也

以上

御即位身_ニ就上_ル元_ノ元

一 貳拾万石迄

一 約二種

一 五万石より拾九万石迄

一 約一種

右ニ通_ル之_レ秋上_ニハ_ハ四_ノ五_ノ嫡子_ノ多_クといふ_も
不及秋上_ノ也

元禄九子年十二月

一 東春

御入内_付石_付流_傳使_上并_拾万石_迄一_面

秋上_身一_次身

御入内_付秋上_元

禁裏_下

御方_日御馬代

黄令_二枚

女御_上

白限_貳拾枚

紀伊大納言殿

禁裏ハ

御右口御馬代

女御ハ

白銀拾枚

黄金二枚

甲府中納言殿
尾張中納言殿
水戸宰相殿

禁裏ハ

御右口御馬代

黄金三枚

尾張大納言殿
紀伊宰相殿

女御ハ

白銀拾枚

水戸中納言殿
同少將殿

禁裏ハ

御右口御馬代黄金二枚

女御ハ

白銀貳拾枚

云拾百石以上
侍候所ハ

禁裏ハ

御右口御馬代黄金二枚

女御ハ

白銀拾枚

拾百石より或拾九百石
迄侍候所ハ

禁裏ハ

御方刀御馬代黄令去投

女御ハ

白限拾枚

拾万石以下
侍込上

宝永六年十月

禁裏ハ

御方刀

御馬代黄令去投

禁裏御移流、御祝儀以俵之計

日限、云構俵志原忌次、秋上、管、
衣服、依松平紀伊守、上、江、原、宗、以、上

十月

松平如賀守

細川秋津守

松平伊豫守

松平陸奥守

松平肥前守

松平筑前守

松平右馬督

井伊掃部頭

松平丹後守

松平安藝守

松平民部補

右堂和泉守

御方刀御馬代黄令去投

松平肥後守
松平玄矩補
松平誠後守
松平澄波守
松平澄路守
伊達重江守
松平甲斐守
上杉民部補
松平大和守
佐竹大膳守

松平隠波守
立花元輝守
松平長門守
丹羽左衛門守
酒井左馬守
松平誠守
柳原式部補
戸田宗女守
阿部對馬守
松平下總守

有馬玄蕃守
松平玄佐守

松平左衛門守

小笠原右衛門守

御方御馬代兼金吾右衛門

松平左衛門守
松平揚清守
松平出雲守
織田誠守
松平大學守
宗對馬守

松平元澤守
松平左衛門守
松平中務大補
松平大膳守
土波伊豫守
黒田左衛門守

松平右京受
松平出羽守
松平豊後守
土井周防守
松平伊賀守
松平越前守

宝永六年十月

榊原

御右刀

清馬代白浪之拾枚

至上海鹿鹿清酒湯、清祝儀以使志
下云然以日限、云攝使志京忌次等然、

管下衣服亦、候妻細松平能守云、以是意、
云、清酒湯、以是、石山候、以是、以後使志
下云、若也、以京部、以是、意、以是、京東相勤、
勝子、次等、以是、

十月

松平加賀守
松平陸奥守
細川越中守
松平薩摩守

御右刀

清馬代白浪之拾枚

松平肥後守
松平民部大輔

清方
清馬代白浪拾枚

松平伊豫守
松平玄妙補
井伊掃部頭
松平澄路守
松平肥前守
松平右馬督
松平丹後守

松平安藝守
後堂和泉守
佐竹大膳守
有馬玄蕃守
松平右衛門守
清馬代先例色相觸
松平左衛門守

松平越後守

松平越中守

松平讃波守
宗對馬守
伊達幸江守
松平甲斐守
上杉民部大輔
松平大和守
小笠原右近將監
松平隠岐守
立花飛騨守
松平長門守

柳原式部大輔
戸田宗女正
阿部對馬守
松平下総守
酒井雅樂頭
本多信濃守
南近信濃守
酒井修理守
稻葉丹後守
阿部飛騨守

丹羽左京大夫
赤田伊豆守
酒井右衛尉
坂田伊豆守

御右刀
御馬代白浪五枚

松平左京大夫
松平右衛尉
松平出雲守
織田越前守
松平大守
松平右京大夫
松平左衛尉
松平中務大夫
松平大膳大夫
公波伊豫守
黒田左京大夫
松平出羽守

松平豊後守
松平伊賀守
松平飛騨守
古井周防守
松平越前守

宝永七寅年十月

御所位身涉祝儀

御衣
御右刀
白浪三拾枚

此三家

仙洞ハ

御方ハ

白銀貳拾枚

女院ハ

白銀拾枚

新女院ハ

同ハ

大宮ハ

同ハ

一種一為元

仙洞

長檜
大乳人
上膳馬

右通

御即位 御元服 舟而來 春松平紀伊

御安合ハ 御然ハ

十月

御即位 御元服 御然ハ 上ハ 元

禁裏ハ

一 御方ハ

白銀三拾枚

二拾万石以上

一 淨右刀
白銀拾枚

貳拾九百石
拾百石迄

一 淨右刀
白銀拾枚

九百石
五百石迄

仙洞ハ

一 淨右刀
白銀拾枚

三拾百石以上

一 淨右刀
白銀拾枚

貳拾九百石
拾百石迄

一 淨右刀
白銀拾枚

九百石
五百石迄

女院ハ

一 白銀拾枚

但五百石以下
二百石以上
三拾百石以上

一 同五枚

貳拾九百石
拾百石迄

一 同三枚

九百石
五百石迄

新女院ハ

一 淨同枚

但五百石以下
二百石以上
三拾百石以上

大准后ハク

一 御同根

右之通

御即位

清元殿付 来春松平記伊与

江古若安つ之秋上ハク以上

十月

正徳元外年七月

境抗之事

京都近邊

榊原裏

仙洞清料ハク之ハク初ハク境抗等小

そ中と書付ハク旨相関ハク想ハクるハクめけハク一秋ハクのハク相ハク

みより小

榊原裏 仙洞ハクのハク字ハク志ハク一ハク事ハク名ハク可ハク抗

清事ハクハハク多ハク一ハク山ハク料ハクハハク御ハク料ハク之ハク一ハク也

山料清料ハク名ハク羽ハク小ハク一ハク也ハク多ハク御ハク料ハク之ハク一ハク也

なハク書ハク改ハク一ハク抗ハクハハク又ハク渡ハク等ハクハハク御ハク料ハク之ハク一ハク也

渡御料ハクとハクりハクるハク松ハク平ハク丹ハク波ハク也ハク願ハク分ハクとハク給ハク可

中ハク村ハク名ハクとハク用ハクハハク松ハク一ハク抗ハクハハク又ハク洛ハク中

洛外町中ハクのハク着ハク板ハク等ハク外ハク書ハク付ハク

禁裏所用

仙洞所用の字志多し以事書改は
不精也

正徳元卯年七月

一町中見世し着板扱

禁裏所用

仙洞所用未とるし作右類書付あり
ありしを書改つ中は有町中急度可
相觸以上

七月

正徳元卯年七月

一町中見世し着板扱

仙洞所用未とるし作右類書付あり
町中急度し相觸以上

七月

正徳二辰年

唯今述也

勅旨之中一某以始亦向後
禁裏 御所方々 御返書披
仰出以之唱以振之云 仍志以有左振可云
云云云
右書封之高家奏者當云渡一

正徳二辰年六月

付度

禁裏 御所方々書信身御築地料
如先親之掛以有松平紀伊守云云作是

新島上出振中云云以上

六月

尾張中納言殿
紀伊中納言殿
水戸中納言殿

付度

禁裏 御所方々書信身御築地料
如先親之掛以有松平紀伊守云云相是云
云云云以上

六月

右書付石上之面之相觸

正徳六年九月

法皇 非官所入樂之儀 仰出付

光

一 隠指又之痛等知か之面之今日申充申
 越前守中務大輔若年寄中定之
 使去所祝儀之申上之事
 一 直圓在色之面之之取之以後以使札

所祝儀之申上之事

但隠指在色之面之同前

右之通之相觸之

九月

享保元年十月

禁裏

所右刀

所馬代黄金之板

水戸中納言殿

尾張中納言殿

紀伊中將殿

女清ハ

白浪二十枚

某月十三日

女清入 内付の以使志有通つ然ハ
古使志衣服勤方目限未ハ終系部水燈
和泉与ハ三水合ハ此後中上ハ

十月

但徳川秀徳子代殿よりハ云然物ハ不及候
事一

女清入 内付の然上物

禁裏ハ

清方ハ

清馬代 黄金二枚

女清ハ

白浪貳拾枚

松平加賀守

松平陸奥守

松平右馬督

松平民部補

友堂和泉守

松平薩摩守

井伊掃部氏

松平丹後守

松平安藝守

細川越中守

榊家裏ハ

御右ハ

御馬代 黄金式ハ一枚

女御ハ

白銀拾枚

松平肥前ハ

松平大炊ハ

松平肥後ハ

松平越後ハ

松平讃岐ハ

松平下総ハ

松平伊豫ハ

松平淡路ハ

宗對馬ハ

松平甲斐ハ

上杉民部ハ

松平大和ハ

有馬玄蕃ハ

松平公依ハ

佐竹右京ハ

小笠原右進ハ

松平隠岐ハ

榊原式部ハ

榊家裏ハ

御右ハ

御馬代 黄金一枚

女御ハ

白銀十枚

松平出雲ハ

松平大守ハ

松平越前守
 松平日向守
 松平播磨守
 松平紀伊守
 松平右京守
 松平伯耆守
 松平伊豫守
 同前越前守
 松平右衛門守
 本多中務守

正月十三日

女清入月付為清統儀以便左右通可有
 秋上使去衣振勤方日限未於京於水野
 和泉守以水合名振之了中付以上
 右通之相直以上

享保元申年十月

女清清里清殿清築地高掛り金五万石
 以上又貴内近江丹波播磨城之一分
 是れ付右通以書付相直了
 一女清清里清殿清築地入用高掛り金五万石
 是れ初刻合京八水野和泉守了相直以上
 是れ了以上

十月

井伊掃部頭
 松平紀伊守
 榊原式部左衛門
 松平右衛門守

是日於德寺
本多信濃守
松平丹波守
青山因幡守
月夜量前守
本多下総守
服坂治政守

享保元申年十一月

今日十三日

女御入内相御付為御祝俊明十九日
廢斗月忌一日相御付仕事

十月

享保元申年正月

新准后女御御事去廿日薨死去付今日より
廿六日迄御物之日傳山

但書結と不若也

右之通一云相觸也

同申年二月

女院御所去十日
崩御付る今日より十六日
昭和之日傳山
但書結一搦云一

右通口云相觸也

二月

享保十三申年六月

去十日

立坊相觸付与为涉祝儀明廿日
御本丸西丸也仕事

一 右为涉祝儀在國在邑一面又方石以上ハ
使札方石以下ハ札方石就事
右通口云相觸也

六月

享保十五戌年十月

光

棟家裏 法皇御麻疹御使給是御酒湯
云为 右为涉祝儀明廿六日
御本丸也仕事

但 御本丸相觸西丸也仕事

一 病室知少隠居一面ハ八月番ハ先中對馬宅
使去ハ是就事

- 一 在國在邑、面々充中對馬古拾万石之事
- 一 倭札之件ハ、為元札之事
- 一 出仕、面々股紗小被麻之下、為急用事
- 右、通之、相觸也

十二月

享保十七子年八月

- 一 法皇御不豫、依養生不、為叶去、百石
- 崩御、付、為何、涉、穢、潔、明、十日、熱、出、仕、事
- 但、西、丸、も、熱、出、仕、事

- 一 病、重、初、隠、居、一、面、一、月、番、一、充、申、為、前、事
- 一 宅、に、使、去、之、為、裁、也、事
- 一 在、國、在、邑、一、面、一、倭、札、之、為、裁、也、事
- 但、在、國、在、邑、一、嫡、子、隠、居、も、右、同、事
- 一 常、法、唱、物、今、日、より、来、ん、十、日、迄、六、日、傳、い、事
- 右、通、之、相、觸、也

八月

享保十七子年九月六日

致法門院去月晦日薨死、付、今日より七日迄

唱物傳のり
但當傳のり

享保二十九年二月

御讓位相繼

院御所御料事 前々七子石之進

御方

靈元院御例通々方石之進のり

御一方石成御産のり通々

御二方石成御産のり先皇のり通々方石之進

御方のり

御方のり

東山院御例通七子石之進のり

右御所御料事 前々七子石之進のり

相繼のり

右法勘定奉行のり

享保二十九年八月

御即位御統候のり

禁裏のり

一 御方のり
白浪三拾枚

三拾万石以上

一 佛右刀
白銀貳拾枚

貳拾九万石
拾万石込

一 佛右刀
白銀拾枚

九万石
八万石込

一 同形

八万石以下
同形以上

仙洞

一 佛右刀
白銀貳拾枚

三拾万石以上

一 佛右刀
白銀拾枚

貳拾九万石
拾万石込

一 佛右刀
白銀貳枚

九万石
八万石込

一 同形

八万石以下
同形以上

右之通

佛即位相湊云波丹後守江治若菜可也
然上使志是也丹後守之儀是又丹後守
之相伺以上

八月

柿不裏ハ

淨右刀

白銀之拾枚

仙洞ハ

淨右刀

白銀貳拾枚

一種一荷ハ

柿不裏ハ

淨右刀

白銀拾枚

仙洞ハ

淨右刀

白銀六枚

鶴尾紀
子代張伴
殿殿殿

仙洞ハ長
上代乳人
藏弓

紀伴中將殿

享保二十卯年十月

就

御即位涉稅後就上之覚

公方極

一二種一荷

貳拾万石以上

一一種一荷

拾九万石以上
五万石以上

一同以

五万石以下
二万石以上

大納言極

一一種一荷

貳拾万石以上

一一種

拾九万石以上
五万石以上

一同以

五万石以下
二万石以上

右ノ通以候者之就上ノ在國在邑ノ面ノも
同率以当地ノ者ノ其ノ上ノ日限ニ追テ可
相違ハカ

大納言極ノ就上ノ西凡ノ之其ノ上ノ也

十月

尾 紀 伊 殿
浪 殿

鶴子代殿

公方極は
二種一荷
大綱言極は
一種一荷

紀伊中将殿

公方極は
一種一荷
大綱言極は
一種

享保二十卯年十月

今日三日

御即位相御少舟为沙祝儀某日服紗
小袖中袴は一は口时抽は仕は一は充は西は凡は
其は以は事は

但知仕は一は面は八月番は充は中は能は也は定は
以は使は志は出は祝は儀は一は中は上は互は回は在は是は一は面は一は
充は中は右は系は更は然は也は也は一は使は礼は一は為は就は事は
右は一は執は一は以は相は觸は
一は右は身は先は日は相は觸は以は通は御は指は者は

清本丸西丸ハ來ル十六日朝六時ト下リ夕ト時
延シ自レ清玄園ヨリ下リ夕ト時ト
右ノ通シ方石并記品等望シ面々下リ夕ト時ト

元文元辰年十月

女清入 内子然上均

禁裏ハ

清右ハ

清馬代黃金三枚

女清ハ

白浪式拾枚

松平加賀守

松平大隅守

松平安房守

井伊掃部頭

松平筑前守

松平大膳守

友室和泉守

松平陸奥守

松平相摸守

松平玄初大膳

松平大炊頭

松平信濃守

細川越中守

禁裏ハ

清右ハ

清馬代黃金貳枚

女御ハ
白浪拾枝

松平下總守

佐竹右京大夫

有馬中務大夫

上杉民部卿

松平彌次守

松平季次代

小笠原右五郎

松平甲斐守

松平公作守

宗對馬守

松平肥前守

松平阿波守

阿部豊後守

棟小裏ハ

御右刀

御馬代黄令三枝

女御ハ

白浪拾枝

松平左京大夫

松平大守代

松平左衛門督

松平但馬守

松平中務大夫

牧野河内守

来月中旬

女御入 月分 为 涉 祝 儀 以便 左右 通

一 有秋上ハ便衣衣服勤方日限未ハ推系部
去彼丹後ハ取合ハ振ハ常ハ付ハ
右ハ通ハ相ハ通ハ

十月

元文元辰年十月

今月十日

女御入 内相ハ御ハ付ハ为ハ涉ハ税ハ依ハ明ハ其ハ可
服ハ沙ハ小ハ御ハ中ハ袴ハ总ハ一ハ口ハ时ハ惣ハ出ハ仕ハ了ハ其ハ以ハ
西ハ凡ハ也ハ能ハ事ハ

一 出仕ハ云ハ一ハ面ハ一ハ月ハ昔ハ先ハ中ハ往ハ定ハ宅ハ後ハ定ハ
涉ハ税ハ依ハ中ハ上ハ

一 为ハ涉ハ税ハ依ハ互ハ因ハ互ハ色ハ一ハ面ハ一ハ先ハ中ハ右ハ系ハ定ハ
往ハ中ハ与ハ上ハ又ハ方ハ右ハ以ハ上ハ便ハ礼ハ云ハ右ハ以ハ下ハ一ハ礼ハ
上ハ云ハ云ハ越ハ事ハ

右ハ通ハ相ハ通ハ

十月

元文二己年十月

一 仙洞御弟ハ豫ハ涉ハ表ハ生ハ名ハ以ハ为ハ什ハ云ハ音ハ云ハ推ハ

崩御の旨を為伺御機嫌明十九日御出仕
之事

但西丸にも御出仕之事

一病室知少隠居の面へ月番一老中
張也等定へ使え之儀御事

一互圓互色一面へ八使札之儀御事
但互圓互色一嫡子隠居も右同旨

一若侍唱物今日より来廿二日迄寄信之事
右へ通へ之相觸也

巳月

仙洞 崩御の旨を御拾万石の旨より来致
以候之御事御莫然上へ候享保十七年

靈元院 崩御の旨を御通へ之旨より来致
公波丹後等へ之旨御同旨御莫然上へ相御旨候
月番一老中へ之旨候也

右へ通へ之相觸也

元文乙申年三月

梅溪前中納言卒左付

御初登候も為伺御機嫌松平加賀守

松平陸奥守父子松平大隅守酒造越前守
此之家庶流此儀代大名諸流此奏名番
斗より細也守完ハ使名ハ是職ハ左圓
互是ハ面ハ八名及ハ子儀ハ

但右外八何事職嫌不及ハ

一竹子代極事横煙何ハ不及ハ

右通ハ云相違ハ

定式御祝儀等ハ部